原著論文

義歯非装着者からみた義歯装着者のイメージ

瀬谷 直也 前田 芳信 伊堂寺 茂 岡田 政俊
野首 孝祠 奥野 善彦 牧嶋 孝生*

Images of Denture Wearers viewed from Non-denture Wearers

Naoya Seya, Yoshinobu Maeda, Shigeru Idoji, Masatoshi Okada,
Takashi Nokubi, Yoshihiko Okuno and Takao Makishima*

Abstract : The purpose of this study was to find out opinions of non-denture wearers (NDW) regarding images of denture wearers (DW).

1. Elder NDW could recognize dentures better than younger NDW.
2. Main reasons for the recognizing dentures were, artificial teeth arrangements, color of denture base and clasps.
3. NDW concerned mainly for DW's behavior such as removing dentures in person, leaving dentures on tables and so on.
4. NDW did not pay much attention for DW in public places and also approved the importance of denture cleanings.

Key words : image, denture wearer, non-denture wearer, cleaning, social life

I. 緒 言

人口の高齢化に伴う有床義歯装着者の増加とともに、義歯の機能はもとより審美性や清掃に対する関心も高まりつつあるが、これらの諸問題は義歯装着者の社会生活あるいは心理的要因と深い関係があると考えられる^{1,2)}。

著者らが行った調査結果^{3,4)}においても、義歯装着者の多くが外出時に第三者の目を意識している度が高く、

義歯を装着していることに関する心理的な負担が大きいものと推察される。

しかし、このような問題に関しては逆の立場、すなわち患者の周囲の人、特に義歯を装着していない者（以下義歯非装着者とする）の意見を加味して分析しなければ、いたずらに問題点を過大あるいは過小評価するおそれがあると考えられる。

そこで、本報では義歯非装着者が義歯装着者に対してどのようなイメージあるいは意見をもって接しているのかについて調査し分析を試みた。

II. 調査対象ならびに項目

調査の対象としては、歯科の専門知識をもたない一般の義歯非装着者 213 名（平均年齢 32.1 歳）とし、表 1 に示す項目をアンケートにより調査した。これらの回答者

大阪大学歯学部歯科補綴学第二講座（主任：奥野善彦教授）
The 2nd Department of Prosthetic Dentistry, Osaka
University Faculty of Dentistry (Director: Prof. Yoshihiko Okuno)

* サンスター (株)、オーラルケア一部

* Sunster INC. Research & Development Department Oral
Care Business Headquarters

平成 2 年 10 月 29 日受付

表 1 調査に用いたアンケート用紙

～～～義歯非装着者から見た義歯に対するイメージの調査～～～
大阪大学歯学部歯科補綴学第二講座

年齢 () 才 性別 (男・女)

Q 1. あなたの身近に義歯装着者はいますか？
1) いる ①同居の家族
②親戚
③知人
2) いない

Q 2. Q 1で【いる】と答えた方に質問です。
どの様な形の義歯ですか？
1) 全部床義歯 (総入れ歯)
2) 部分床義歯 (部分入れ歯)

Q 3. 義歯をはめていることがわかりますか？
1) わかる
2) わからない

Q 4. Q 3で【わかる】と答えた方に質問です。
義歯をはめていることが何故わかりますか？
1) 形が不自然
2) 大きさが不自然
3) 歯の並び方が不自然
4) 歯の色調が不自然
5) 歯肉の色調が不自然
6) 針金が外から見える
7) その他 []

Q 5. あなたの義歯に対するイメージとはどのようなものですか？
簡単に答えてください。
[]

Q 6. 義歯をはめている人に対して気になることはどんなことですか？
1) 義歯の保管について
2) 義歯を洗う場所について
3) 義歯の見た目について
4) 義歯特有のにおい
5) 義歯のカチカチ音
6) かみぐせ
7) 特に何も感じない
8) その他 []

Q 7. 義歯をはめている人の発音はわかりやすいですか？
1) 不自然さは感じない
2) 時々聞き取りにくいことがある
3) 不明瞭で聞き取りにくい

Q 8. 外出先で義歯をはめている人を見て何を感じますか？
1) 外観が不自然
2) 発音が不明瞭
3) はずして洗っているのがいや
4) つばが飛ぶ
5) 特に何も感じない
6) その他 []

Q 9. 外出先の手洗いで義歯を洗っている人をどう思いますか？
1) 清潔にしている良いと思う
2) 特に気にならない
3) 何も感じない
4) ここでは洗って欲しくない (①か②に○をしてください)
①仕方がないので構わない
②仕方がないと思うがやめて欲しい
5) その他 []

Q 10. 義歯をはめている人へ何か要望があれば簡単に書いてください。
[]

ご協力ありがとうございました

図 1 アンケート回答者の男女別・年齢層別分類

を年齢層別に分類し、29歳以下を若年齢層、30～49歳を中年年齢層、50歳以上を高年齢層とし、男女別のグラフにしたものが図1である。

III. 調査結果ならびに考察

まず「身近に義歯装着者がいるか」との質問に対する回答では (図2)、調査対象の約80%という多くが、義歯装着者とともに暮らしていることがわかった。

次にこれらの回答者に対して、以下の項目についての

図 2 「身近に義歯装着者がいるか」の質問に対する回答の集計

質問を行った結果を男女別・年齢層別に集計した。

すなわち「義歯を装着していることが判別できるか否か」に関する項目については (図3)、判別できる割合が男女ともに年齢と比例して増加する傾向がみられた。これは加齢に伴って周囲の義歯装着者の割合が増加し、義

図3 「義歯の装着が判別できるか」の質問に対する回答の集計

図5 「義歯装着者に対して気になることは何か」の質問に対する回答の集計

図4 「義歯の装着を判別するポイントは何か」の質問に対する回答の集計

歯に対する関心が高まるためと思われる。さらにその際の判別のポイントについて質問したところ (図4), 「歯列の不自然さ」「歯肉色の不自然さ」「針金が見える」の3つの回答が多くを占めた。これを男女別・年齢層別に分析すると、男性では「歯列の不自然さ」を、女性では「歯肉色の不自然さ」を、若年齢層では「針金が見える」ことを多くあげたが、中・高年齢層では

特に多くを占めた識別のポイントはなかった。これは、補綴物の製作技術、方法の違いに各年代の価値観の差が加味されて表れているものであり、その設計および製作技術により改善の余地があるとも考えられる。

「義歯に対するイメージ」を言葉で表現させた結果においては、「味覚が衰える」「老人のするもの」「不自然」「不便」「不潔」など、全体として年老いた暗いイメージをもっている者や、「いずれお世話になるもの」「できればつけないが必要なもの」「仕方がない」など、将来的に身近なものとなるであろうとするイメージをもっている者がいることがわかった。

「義歯装着者について気になること」についての回答は多様であったが (図5), 男性および若年齢層では「何も感じない」、女性では「洗い場所」「義歯特有のにおい」、高年齢層では「洗い場所」「義歯のカチカチ音」が高頻度を示した。すなわち、一般的に視聴覚に訴える事柄に関心が集中したものの、男性および若年齢層では無関心な者も多く、むしろ義歯装着に関して肯定的であるが、女性では義歯に対する嫌悪感を含めた否定的な姿勢がその回答の背景に感じとれる。これに対し高年齢層では、自分の近未来像としての義歯装着者を身近に感じ、その口腔内環境と義歯の取り扱いに関心が強くなるものと思われる。また、義歯にまつわる臭いに関しては、義歯装着者が気にするほどには⁴⁻⁶⁾、非装着者は感じていないことがわかった。

図 6 「義歯装着者の発音はわかりやすいか」の質問に対する回答の集計

図 7 「外出先で義歯装着者を見て何を感じるか」の質問に対する回答の集計

義歯装着者の「発音」に関する項目では(図6),「不明瞭である」とする回答が大半を占めたが、特にこれが男性および若年齢層で顕著であり、女性では「時々不明瞭である」とする意見も多く、高年齢層には「不明瞭で聞き取りにくい」とする者もみられた。しかしこれは、義歯装着者自身が感じている発音に関する不満感³⁾とは異なり、患者自身が感じているほどには不明瞭であるとは

図 8 「外出先での義歯清掃を見てどう思うか」の質問に対する回答の集計

していないところから、今後さらに検討すべき課題であると思われる。

また「外出先で義歯装着者に対して感じる事」については(図7),「特に何も感じない」とする回答が最も多くを占めていたが、これは発音の場合と同様に男性および若年齢層に多い回答で、ここでも彼らの義歯に対する無関心さが表れているものと考えられる。しかし「外観が不自然」「はずして洗っているのがいや」とする回答に加え、特に女性および高年齢層では「発音が不明瞭」とする者もみられた。

「外出先の手洗いで義歯を洗っている人をどう思うか」については(図8),「特に気にならない」とする意見と「洗わないで欲しい」とする意見に大きく分かれた。そのうち男性および若年齢層においては、「特に気にならない」が最も多くみられた意見であり、これに対し女性では「清潔にしている良い」と肯定する意見もみられた。これは、女性では義歯に対して抱いている不潔感を減ずる方法として、義歯の清掃を肯定しているものと思われる。反対に高年齢層では「ここでは洗わないで欲しい」とする意見が非常に多くなったのが特徴的である。これは一般的には、義歯を人前でははずすことは恥かしいことであるという社会通念が存在していること、自らの近未来像としての義歯装着の不安感・抵抗感から、義歯を目にしたくないと感じていることに起因している可能性がある。

次に前項目において「洗わないで欲しい」と回答した

図9 図8の項目で、外出先での義歯清掃をやめて欲しいとした回答中「仕方がないので構わない」とするの、「仕方がないがやめて欲しい」とするのの集計

者に対し、外出先での義歯清掃を「仕方がないので構わない」と消極的ではあるが肯定するの、あるいは「仕方がないと思うがやめて欲しい」と希望しているのを選択させたところ(図9)、年齢層別では若年齢層になるほど前者を選択する傾向が強く、男女別では男性に後者を選択する者が圧倒的に多くなる傾向がみられた。

義歯装着者自身が不満に感じていることとして、「外出先に適当な清掃場所がないこと」「人目が気になること」がほとんどで、洗いたくても洗いづらく感じていることが多いとされている³⁾が、これは装着者が第三者の消極的な肯定か、あるいは賛同を敏感に感じとり、消極的な姿勢となっている可能性もある。

最後に「義歯装着者への要望」を選択肢なしの記入式で回答させたところ(図10)、「清潔にして欲しい」「人前でははずさないで欲しい」「保管をきちんとして欲しい」が多くを占めた。このうち若年齢層ほど「清潔にして欲しい」とする意見が多くみられ、中年年齢層から高年齢層では「人前でははずさないで欲しい」とする意見に変化してくることがわかった。

これらの問題点は装着者、非装着者ともに感じているものではあるが、術者側・製作者側の負担範囲を越えた分野の問題点であるとも考えられる。しかしながら、人口の高齢化が進むなかで、無視できない問題であると考えられる。一般社会での義歯に対する観念を一挙に変化させることは容易なことではなく、学校教育での口腔衛生指導のなかに高齢者の口腔内状態や義歯の話を含める

図10 「義歯装着者に対する要望は何か」の質問に対する回答の集計

ようにしたり、洗面所の設計や外出時用の清掃道具の開発などを図っていく必要がある。

以上のことより、義歯非装着者の視点から義歯患者に対する診療や口腔衛生指導に関する示唆と、社会生活における義歯装着者の環境がより明らかになった。

本報では、歯科の専門知識をもたない一般の義歯非装着者を対象としたが、今後調査の対象を広げ、多角的な観点から検討する予定である。

IV. 結 論

義歯非装着者が装着者に対してどのようなイメージあるいは意見をもって接しているのかについて調査した結果、以下の結論を得た。

- 1) 義歯非装着者が義歯の装着を識別する判断力は年齢に従って高くなった。
- 2) 識別のポイントとしては、人工歯排列・歯肉色・鉤による判別が大多数であった。
- 3) 義歯非装着者は装着者に関して、視聴覚的な事柄に関心が集中している傾向がある。
- 4) 発音については、非装着者の大半が不明瞭であるとは感じていなかった。
- 5) 外出先では、非装着者の大多数は装着者に無関心であることが多いが、義歯清掃に関しては肯定的な者が多かった。

6) 非装着者が装着者に対する要望としては、「義歯を清潔にすること」「人前で着脱しないこと」および「目につく場所に保管しないこと」が多かった。

本論文の要旨の一部は、平成元年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会（平成2年3月4日、大阪）において発表した。

文 献

- 1) Kiyak, H.A. et al : Psychological impact of osseointegrated dental implants, *Int J Oral Maxillofac Implants*, 5 : 91~69, 1990.
- 2) Berg, E., Johsen, T.B. and Ingebretsen, R. : Psychological variables and patient acceptance of complete dentures, *Acta Odontol Scand*, 44 : 17~22, 1986.
- 3) 前田芳信, 瀬谷直也, 伊堂寺茂ほか : 義歯装着者の実態調査—在宅時ならびに外出時の義歯の清掃—, 補綴誌, 投稿中.
- 4) 大谷隆之, 岡田政俊, 前田芳信ほか : 有床義歯の経過観察—第1報—使用状況について, *阪大歯誌*, 31 : 264~274, 1986.
- 5) 高尾泰伸, 奥野善彦 : デンチャープラークコントロールに対する患者意識, 別冊ザ・クインテッセンス, 37~41, 東京, 1981.
- 6) 羽田雅文, 渡辺英幸, 小羽田敦正ほか : 義歯洗浄剤が口臭に及ぼす影響に関する研究, 補綴誌, 34 : 438~441, 1990.